

令和2年度 住まい環境整備モデル事業 事業者交流会(2021年3月10日開催)

## モデル事業の傾向

---

1. 事業概要等.....	1
2. 応募状況等.....	2
3. 応募提案・選定案件の傾向.....	4

# 1. 事業概要等

- 人生100年時代において、ライフステージに応じて変化する居住ニーズに対応して、高齢者、障害者、子育て世帯など誰もが安心して暮らせる住環境の整備を促進するため、これらに資する先導的な事業を公募し、事業の実施に要する費用の一部を補助するものである。

## 【事業内容】

### ①課題設定型

国土交通省が設定した<事業テーマ>に応じた先導的な取組を行う事業を支援する

<事業テーマ>

- 1)多様な世帯の互助を促進する地域交流拠点(共同リビング、こども食堂、障害者就労の組合せなど)の整備
- 2)効果的に見守る高齢者向け住宅(IoT活用による効率的な見守り、地域の高齢者の見守りなど)の整備
- 3)長く健康に暮らせる高齢者住宅(仕事、役割、介護予防、看取りなど)の整備
- 4)早めの住み替えやリフォームに関する相談機能(高齢期に適した住まいや住まい方のアセスメントなど)の整備
- 5)住宅団地の再生につながる地域の居住継続機能(子育て支援施設、多世代交流拠点、シェアオフィスなど)の整備

### ②事業者提案型

<事業テーマ>とは別に、提案者が独自でテーマを提案し、先導的な取組を行う事業を支援する

### ③事業育成型

上記①②の事業化に向けた、調査・検討を支援する事業

## 2. 応募状況等

### (1) 応募提案件数

	令和元年度			令和2年度		
	第1回	第2回	合計	第1回	第2回	合計
<b>①課題設定型</b>	12件	18件	<b>30件</b>	7件	12件	<b>19件</b>
1) 多様な世帯の互助を促進する地域交流拠点の整備	9件	15件	<b>24件</b>	6件	10件	<b>16件</b>
2) 効果的に見守る高齢者向け住宅の整備	5件	4件	<b>9件</b>	3件	2件	<b>5件</b>
3) 長く健康に暮らせる高齢者住宅の整備	4件	5件	<b>9件</b>	2件	5件	<b>7件</b>
4) 早めの住み替えやリフォームに関する相談機能の整備	2件	4件	<b>6件</b>	0件	1件	<b>1件</b>
5) 住宅団地の再生につながる地域の居住継続機能の整備	3件	3件	<b>6件</b>	2件	2件	<b>4件</b>
<b>②事業者提案型</b>	3件	4件	<b>7件</b>	2件	4件	<b>6件</b>
<b>③事業育成型</b>	1件	7件	<b>8件</b>	1件	5件	<b>6件</b>
<b>応募件数※</b>	16件	27件	<b>43件</b>	9件	19件	<b>28件</b>

※型や事業テーマを重複して提案する事業があるため、応募件数と各型の合計は一致しない。

## (2) 評価結果(選定結果)

応募のあった提案案件は、学識経験者からなる評価委員会において、審査・評価を行う。

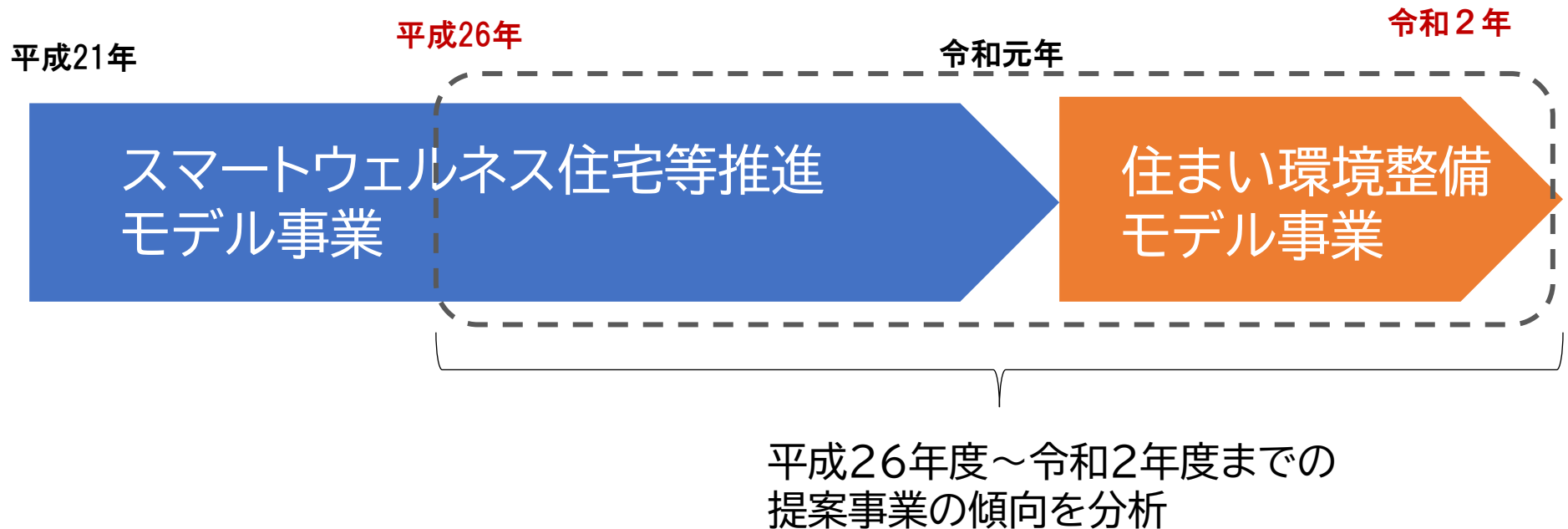
	令和元年度			令和2年度		
	第1回	第2回	合計	第1回	第2回	合計
<b>①課題設定型</b>	6件	7件	<b>13件</b>	3件	7件	<b>10件</b>
1) 多様な世帯の互助を促進する地域交流拠点の整備	4件	6件	10件	3件	5件	8件
2) 効果的に見守る高齢者向け住宅の整備	3件	2件	5件	2件	1件	3件
3) 長く健康に暮らせる高齢者住宅の整備	2件	2件	4件	2件	3件	5件
4) 早めの住み替えやリフォームに関する相談機能の整備	1件	2件	3件	0件	1件	1件
5) 住宅団地の再生につながる地域の居住継続機能の整備	1件	0件	1件	1件	2件	3件
<b>②事業者提案型</b>	2件	1件	<b>3件</b>	0件	2件	<b>2件</b>
<b>③事業育成型</b>	0件	3件	<b>3件</b>	0件	3件	<b>3件</b>
<b>選定件数</b>	8件	11件	<b>19件</b>	3件	10件	<b>13件</b>

※型や事業テーマを重複して提案する事業があるため、応募件数と各型の合計は一致しない。

### 3. 応募提案・選定案件の傾向

近年のモデル事業の応募提案、選定案件※について傾向を分析した。

※スマートウェルネス住宅等推進モデル事業（平成26～平成30年度）、住まい環境整備モデル事業（令和元年度、令和2年度）で応募された応募提案、選定案件



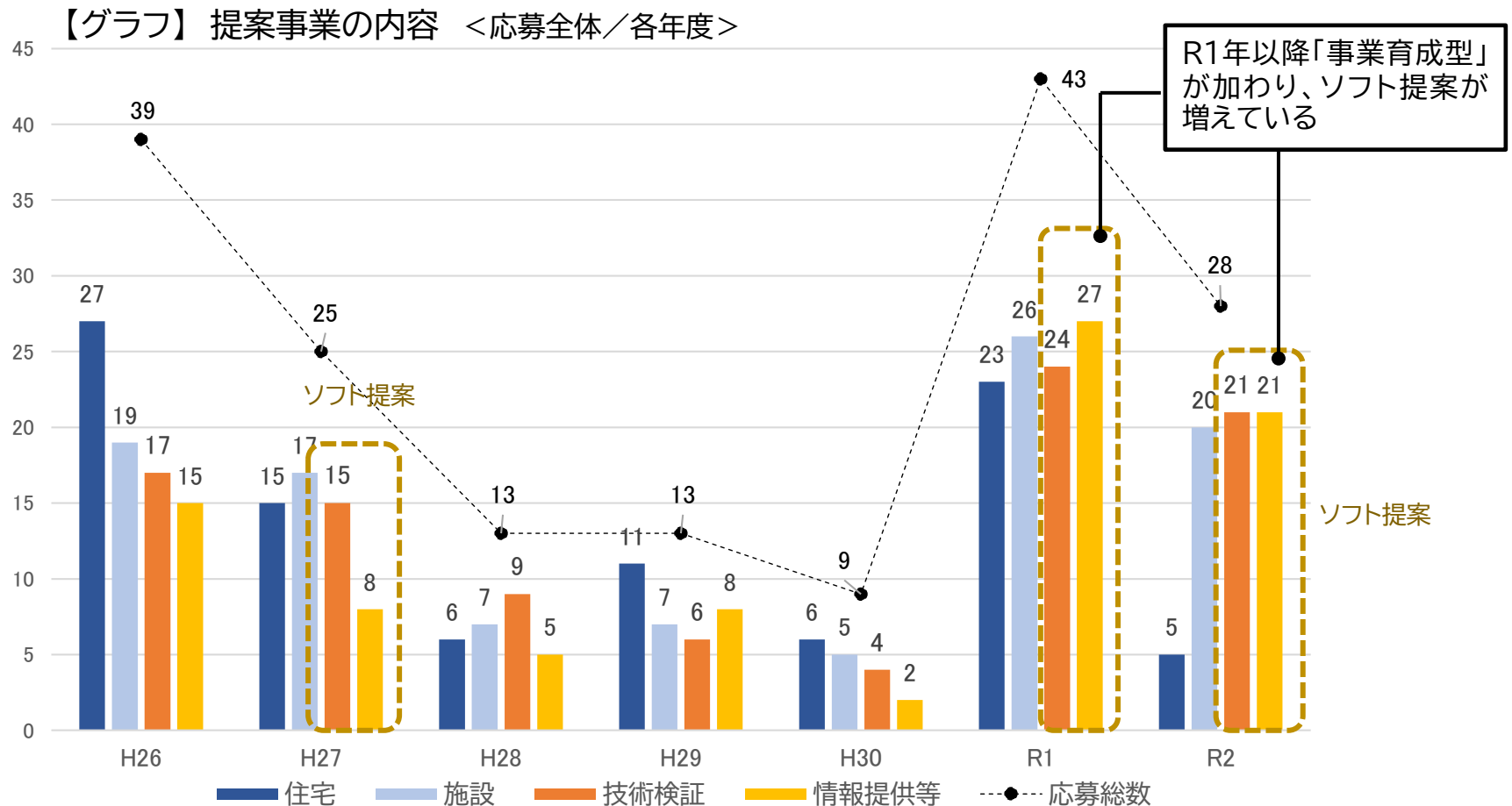
\*H26～H30年度は、「一般部門」のみの提案について整理（H28年度の「システム提案型」は除く）。評価報告書の情報に基づく整理。

\*採択案件については、選定後、事業化された提案のみを対象（選定辞退、取下・中止等を除く）。選定案件について、評価報告書で把握できない内容（提案者の属性、対象者属性等は分類されていない）は、個別提案内容より整理。

# (1) 応募提案の内容

○応募件数にはバラつきがあるが、住宅整備等のハード事業だけでなく、ソフト事業(技術検証、情報提供)を伴う提案が多い。

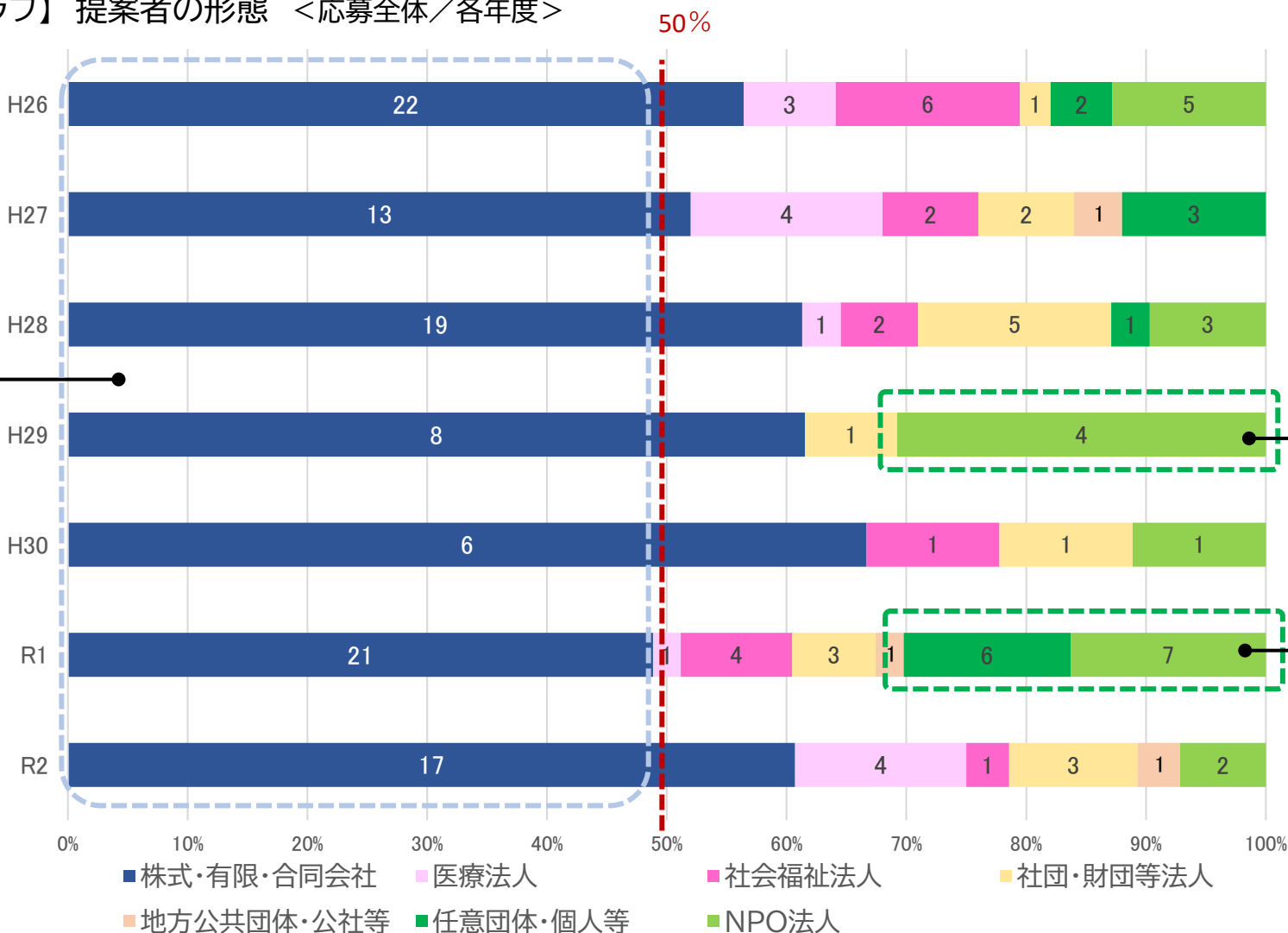
○特に住まい環境整備モデル事業(R1年度)以降、提案メニューに「事業育成型(住宅等の整備を伴わない)」が加わり、ソフト事業の応募や選定案件がさらに増えている。



## (2) 応募者の形態 (代表提案者)

○応募者は、各年度とも「株式会社等」が過半を占めるが、近年、NPOや任意団体・個人等が増えている。

【グラフ】 提案者の形態 <応募全体/各年度>



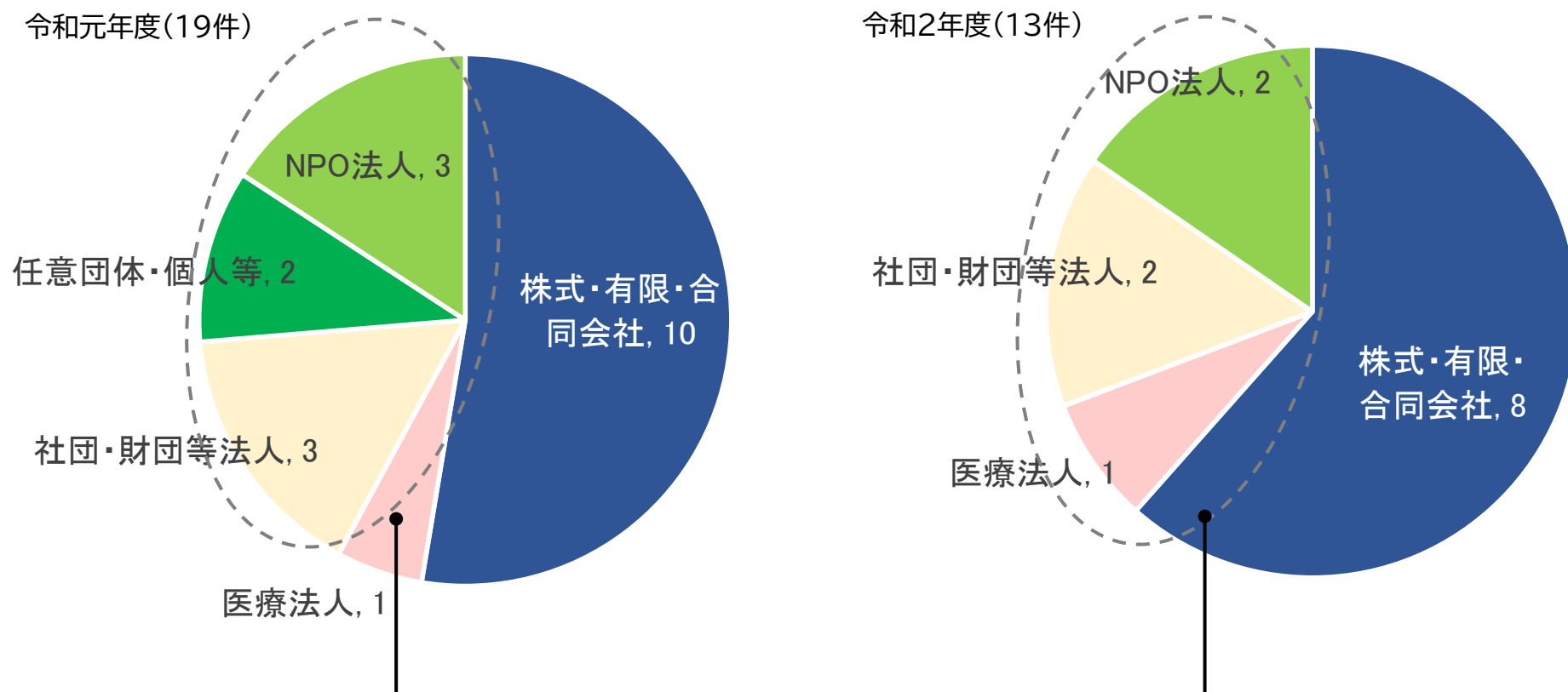
株式会社等が  
半分を占める

近年、NPOや  
個人が多い年  
度もある

### (3) 選定案件の提案者の形態 (代表提案者)

○選定案件の提案者は、株式会社等に加え、医療法人、社団・財団法人、NPOや任意団体・個人等、多様な主体である。

【グラフ】 提案者の形態 <選定案件/住まい環境整備モデル事業(令和元、2年度)>



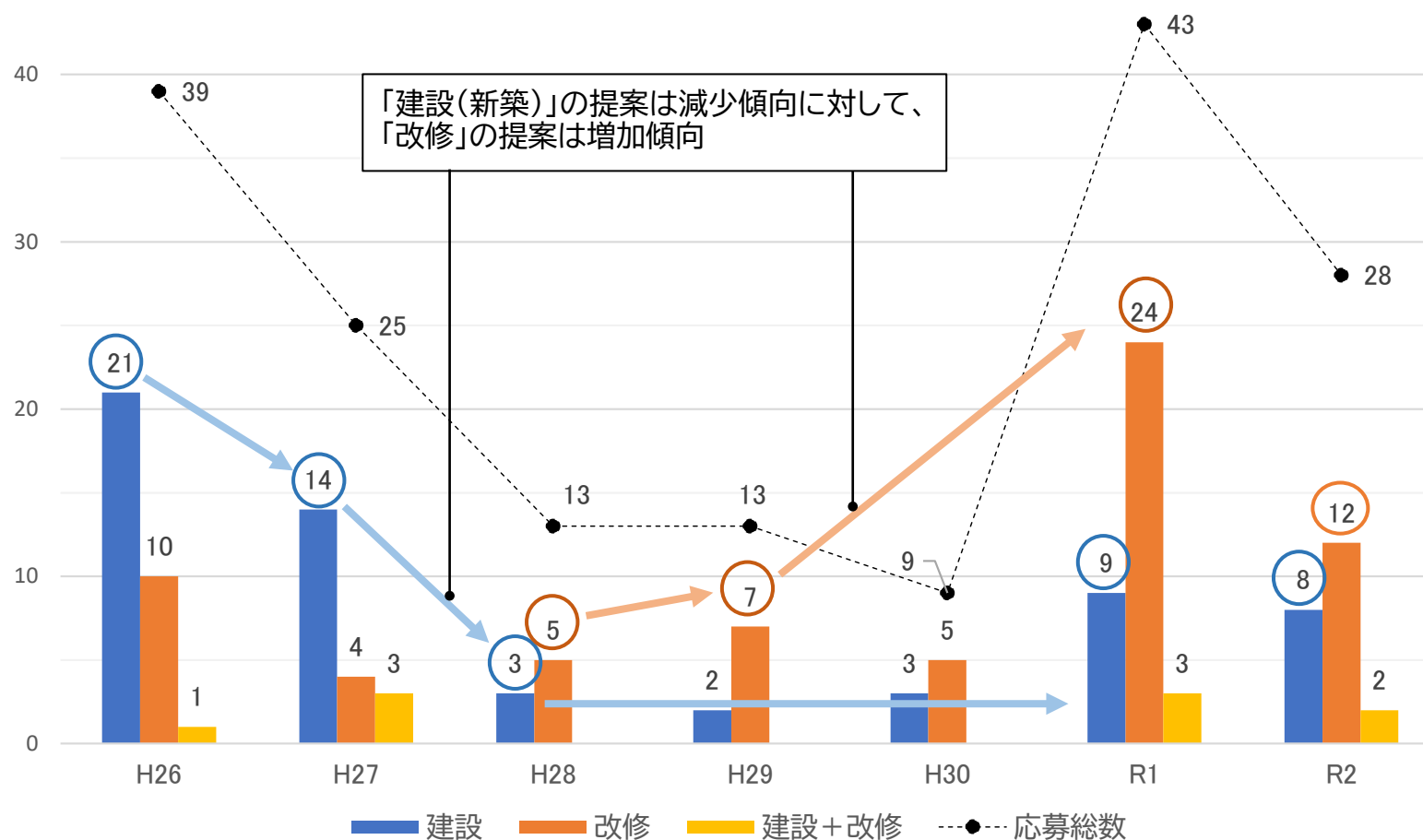
株式会社等が過半を占めるが、その他の主体からの応募数増加に伴い、選定結果も多様化してきている。



## (4)住宅等の整備 (建設・改修)

- 応募提案は、以前は「建設(新築)」の提案が多かったが、近年「改修」の提案数が増えている。
- それに伴い、選定案件も、「改修」の提案が増えている。

【グラフ】 住宅等の整備内容 <応募全体/各年度>

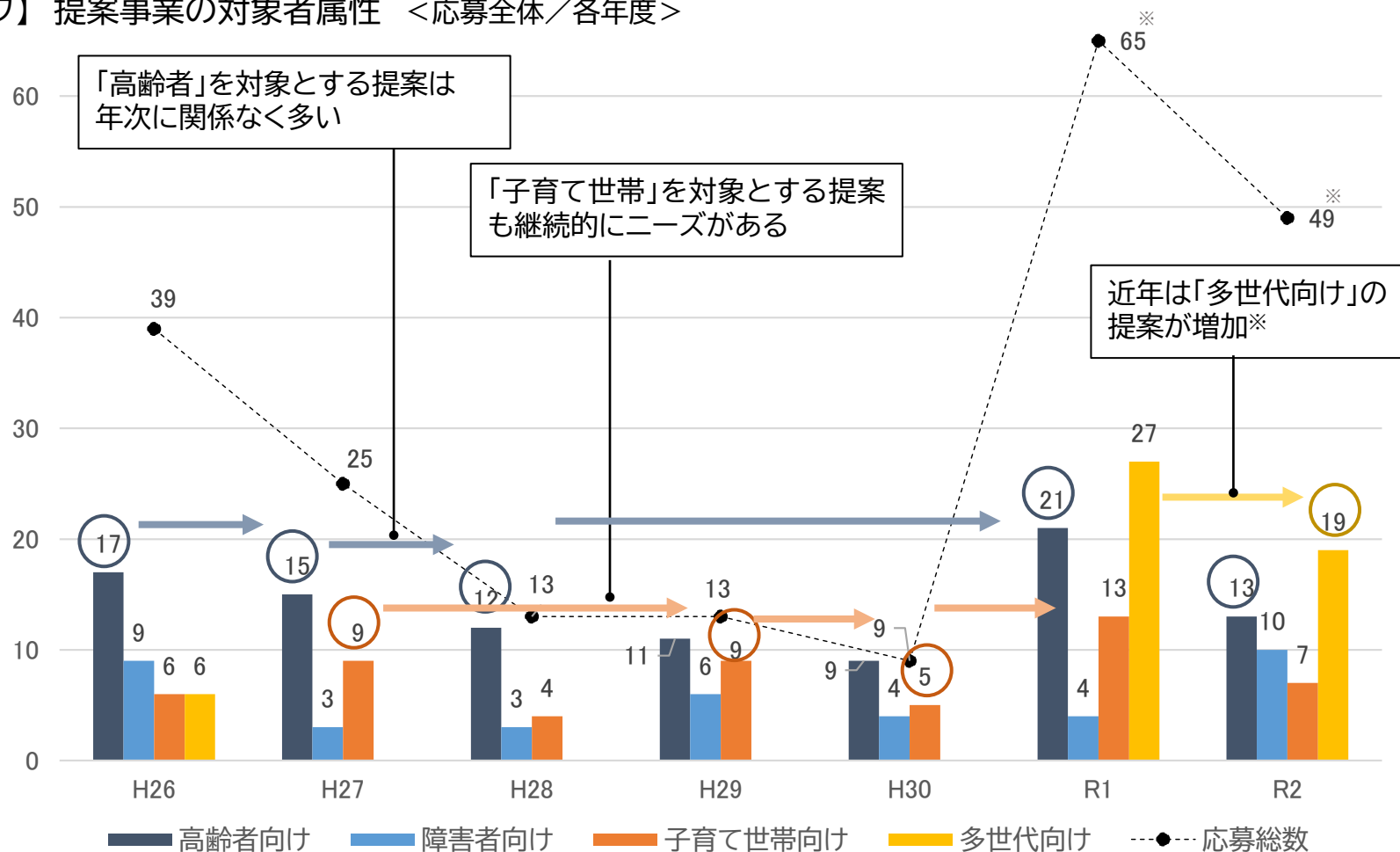


# (5)対象者の属性(応募提案)

○応募提案は、対象者を「高齢者」「子育て」向けとするものが年度に関係なく多い。

○近年は「(高齢者、障害者、子育て等複数の属性に跨る)多世代向け」の提案が増えている。

【グラフ】 提案事業の対象者属性 <応募全体/各年度>



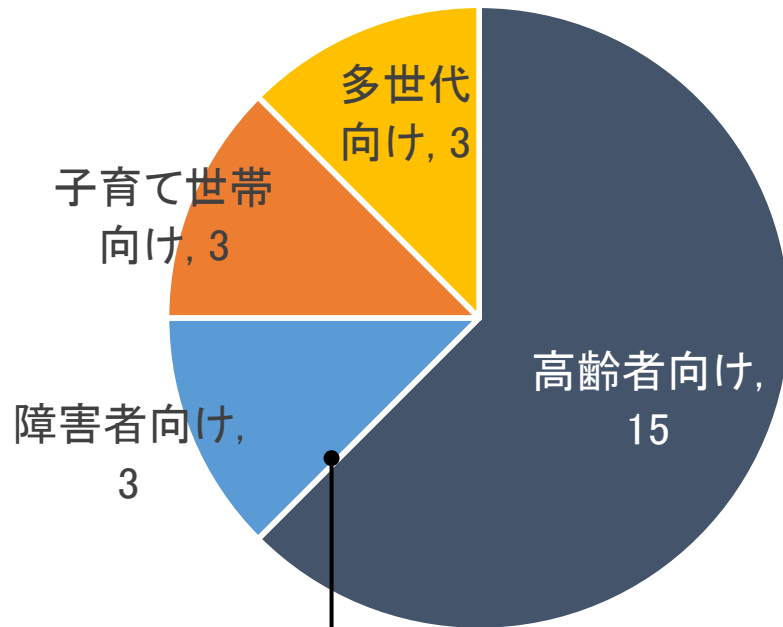
※令和元年度以降は、重複提案についての延数

## (6)対象者の属性(選定案件)

○対象者属性が多様化傾向にある応募内容に伴い、選定案件も、対象者の属性(高齢者、障害者、子育て世帯、多世代向け)にそれぞれ偏りのない結果となった。

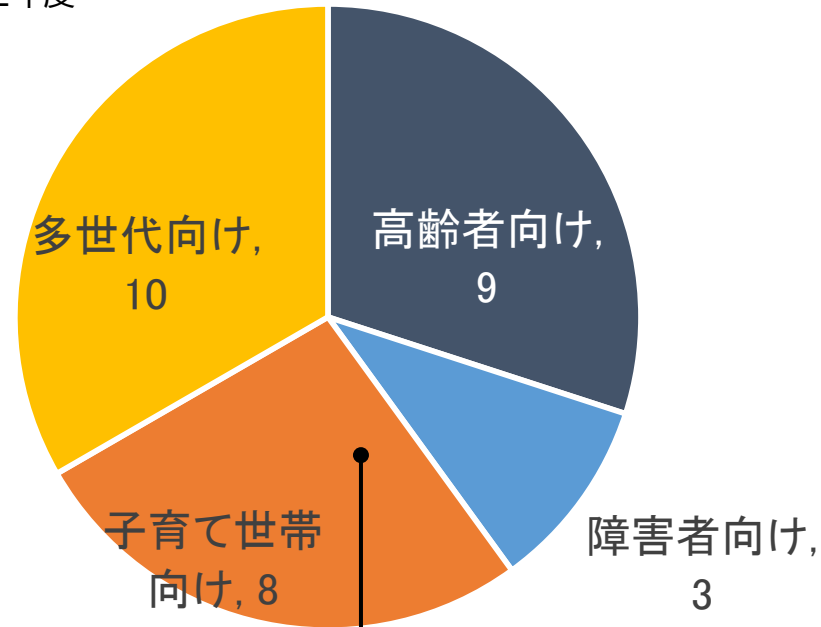
【グラフ】 提案事業の対象者属性 <選定案件/住まい環境整備モデル事業(令和元、2年度)>

令和元年度



令和元年度は「高齢者」向けの提案が多く、選定案件も多いが、その他を対象属性とする提案も偏りなく選定される結果となった

令和2年度



令和2年度はいずれの対象属性にも偏りなく選定される結果となった

(重複対象あり、いずれも延数)